

やまなし 市議会だより

平成24年 5月23日

第29号

オーチャードヴィレッジ・フフからの景観



5月2日に、オーチャードヴィレッジ・フフ施設の賃貸借契約締結調印式が行われました。これは、医療法人社団翠会のグループ会社である株式会社グリーンドックから、滞在型森林セラピー施設として活用したいため、フフを活用したいとの提案を受けてのことです。定例会においても議論が交わされ、市の森林セラピー事業などとも連携し、地域の活性化につながることを強く期待されます。

平成24年度一般会計予算174億1,700万円

新しい議会構成決まる 議長に佐藤勇氏・副議長に雨宮悦子氏

平成24年山梨市議会3月定例会は、3月1日に招集され、23日までの23日間の会期で開催されました。この定例会では、補正予算及び新年度予算、条例の制定・改正、諮問など議員提出議案1件・市長提出議案46件・修正動議1件を審議しました。

最終日の23日には正副議長の選挙をはじめ、常任委員会委員及び各正副委員長を選任が行われました。

おもな内容

定例会議案等審議結果	2～3	議会構成	9
市政一般質問	4～7	議会活動日誌・編集後記	10
常任委員会の審査	8		

3月定例会議案等 審議結果

市長提出議案について、議

案第二十六号平成24年度山梨市一般会計予算は、平成24年度の予算編成に基づき、「元氣な市民生活」、「元氣な地域産業」、「エコライフの推進」を柱とする「元氣創造プロジェクト」推進事業の取組みとして介護予防地域支え合い事業、障害者相談支援事業などを進めるとともに、かねてから懸案であった新図書館建設及び小原スポーツ広場整備事業など基盤整備事業を推進し、市民福祉の向上を図るための予算編成とし、前年度予算に比べ、10.1%増の総額174億1千700万円としたもので、議員賛成多数により原案可決となりました。

予算内容の主なものは、元氣な市民生活として、高齢者の健康づくり、要援護高齢者が要介護者にならずに地域で生活するための介護予防地域支え合い事業2千400万円余、地域認知症ケア体制の強化促進事業610万円余、ファミリーサポート事業、地域子育て支援センター運営事業、病児・病後児保育など子育て支援事業

1千500万円余、小中学校、幼稚園への特別支援教育支援員、図書館司書の配置事業として2千500万円余、英語教育推進事業経費として2千500万円余、施設関係では、八幡保育園園舎の大規模改修事業5千300万円、八幡小学校夜間照明設置工事2千300万円、新図書館建設事業7億2千200万円余、小原スポーツ広場整備事業3億5千200万円余。

元氣な地域産業として、商工業活性化一店逸品事業100万円、就農定着支援事業360万円、空き店舗解消事業90万円余。

エコライフの推進として、ごみ減量化講習会開催事業40万円余、リユース食器導入促進事業助成12万円余、市内中学校にペレットストーブの設置120万円、木質バイオマスボイラー設置者への補助事業20万円、エコハウス、街の駅バイオマスボイラーBDF精製施設、BTL実験施設などを中心とした山梨エネルギーパークのオープンングイベント経費20万円余、エコハウスでのイベント学習会を通じての環境意識の啓発370万円余など。

基盤整備事業として、県営事業を活用した農道、水路改良事業や圃場整備事業

3億2千490万円、市道改良舗装事業2億3千660万円、小原東後屋敷線他2路線の道路建設事業5億3千700万円余となります。

また、議員提出の修正動議議案第二十六号 平成24年度山梨市一般会計予算修正案は、図書館及びスポーツ施設の充実が必要であるが、新規事業については将来の管理経費にまで至る議論も必要であり、市当局は市民の声を聞く方策を取るべきとの考えから、山梨市一般会計予算のうち、新図書館建設事業費7億2千200万円余、小原スポーツ広場整備事業費3億5千200万円余を削除した予算修正案であり、議員反対多数により修正案否決となりました。

議員提出議案

○山議案第一号 山梨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について (費用弁償(旅費)の一部減額) (原案可決)

市長提出議案

(修正案否決)

○議案第九号 山梨市介護保険条例の一部を改正する条例について (原案可決)

○議案第一号 山梨市墓地、埋葬等に関する法律施行条例について (原案可決)

○議案第十号 山梨市簡易水道条例の一部を改正する条例について (原案可決)

○議案第二号 山梨市公有地の拡大の推進に関する法律施行令第3条第3項ただし書の規模を定める条例について (原案可決)

○議案第十一号 山梨市土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例について (原案可決)

○議案第三号 山梨市レンタサイクル条例について (原案可決)

○議案第十二号 山梨市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について (原案可決)

○議案第四号 山梨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について (原案可決)

○議案第十三号 山梨市放課後児童健全育成条例及び山梨市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について (原案可決)

○議案第五号 山梨市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例について (原案可決)

○議案第十四号 山梨市花かげの郷まきおかオーチャードヴィレッジ「フ」施設設置及び管理条例を廃止する条例について (原案可決)

○議案第六号 山梨市税条例の一部を改正する条例について (原案可決)

○議案第十五号 山梨市教育委員会組織条例を廃止する条例について (原案可決)

○議案第七号 山梨市私立幼稚園就園奨励費の補助に関する条例の一部を改正する条例について (原案可決)

○議案第十六号 平成23年度山梨市一般会計補正予算(第4号) (原案可決)

○議案第八号 山梨市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例について (原案可決)

○議案第十七号 平成24年度山梨市一般会計予算修正案(新図書館建設事業及び小原スポーツ広場整備事業修正案) (原案可決)

○修正動議 議案第二十六号 平成24年度山梨市一般会計予算修正案(新図書館建設事業及び小原スポーツ広場整備事業修正案) (原案可決)

○議案第十八号 平成24年度山梨市一般会計補正予算(第4号) (原案可決)

○議案第十九号 平成24年度山梨市一般会計補正予算(第4号) (原案可決)

- 議案第十七号
平成23年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
(原案可決)
- 議案第十八号
平成23年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
(原案可決)
- 議案第十九号
平成23年度山梨市下水道事業特別会計補正予算(第4号)
(原案可決)
- 議案第二十号
平成23年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)
(原案可決)
- 議案第二十一号
平成23年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第4号)
(原案可決)
- 議案第二十二号
平成23年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第2号)
(原案可決)
- 議案第二十三号
平成23年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
(原案可決)
- 議案第二十四号
平成23年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第2号)
(原案可決)
- 議案第二十五号
平成23年度山梨市水道事業会計補正予算(第3号)
(原案可決)
- 議案第二十六号
平成24年度山梨市一般会計予算
(原案可決)
- 議案第二十七号
平成24年度山梨市国民健康保険特別会計予算(原案可決)
- 議案第二十八号
平成24年度山梨市後期高齢者医療特別会計予算
(原案可決)
- 議案第二十九号
平成24年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計予算
(原案可決)
- 議案第三十号
平成24年度山梨市下水道事業特別会計予算(原案可決)
- 議案第三十一号
平成24年度山梨市浄化槽事業特別会計予算(原案可決)
- 議案第三十二号
平成24年度山梨市介護保険特別会計予算(原案可決)
- 議案第三十三号
平成24年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計予算
(原案可決)
- 議案第三十四号
平成24年度山梨市簡易水道事業特別会計予算(原案可決)
- 議案第三十五号
平成24年度山梨市活性化事業特別会計予算(原案可決)
- 議案第三十六号
平成24年度山梨市水道事業会計予算(原案可決)
- 議案第三十七号
平成24年度山梨市病院事業会計予算(原案可決)
- 計予算(原案可決)
- 議案第三十八号
財産の無償貸付けについて
(原案可決)
- 議案第三十九号
国土利用計画(山梨市計画)について
(原案承認)
- 議案第四十号
山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び山梨県市町村総合事務組合規約の変更について
(原案可決)
- 議案第四十一号
教育委員会委員の任命について同意を求める件
(原案同意)
- 議案第四十二号
公平委員会委員の選任について同意を求める件
(原案同意)
- 議案第四十三号
山梨市八幡山恩賜林保護財産区管理会財産区管理委員の選任について同意を求める件
(原案同意)
- 議案第四十四号
山梨市岩手財産区管理会財産区管理委員の選任について同意を求める件
(原案同意)
- 議案第四十五号
監査委員の選任について同意を求める件
(原案同意)
- 諮問第一号
人権擁護委員候補者の推薦について(原案のとおり適任)

3月定例会提出議案について議員賛否が分かれたものの状況(議長を除く)

○賛成 ●反対 △棄権

	古屋保男	雨宮悦子	大村政啓	飯嶋賢一	勝村力	古屋雅夫	古屋弘和	木内健司	秋山榮治	高原信道	岩崎友江	佐藤勇	吉田昭男	雨宮巧	小野鈴枝	山田稔	古屋忠城	結果
議案第9号	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	原案可決
修正動議	●	●	●	●	△	○	○	●	●	●	●	●	△	○	○	○	○	修正案否決
議案第26号	○	○	○	○	△	○	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	原案可決
議案第32号	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	原案可決

※議案第9号 山梨市介護保険条例の一部を改正する条例について
 ※議案第16号 平成23年度山梨市一般会計補正予算(第4号)
 ※修正動議 議案第26号 平成24年度山梨市一般会計予算修正案(新図書館建設事業及び小原スポーツ広場整備事業修正案)
 ※議案第26号 平成24年度山梨市一般会計予算
 ※議案第32号 平成24年度山梨市介護保険特別会計予算

政 市 一 般 質 問 代 表 ・ 一 般

平成24年3月定例会の市政一般質問及び質疑が3月14日・15日に行われ、代表質問を4人の議員が、一般質問を6人の議員が行い、市政全般について市の考えをたしました。
質問と答弁の要旨はつぎのとおりです。

詳しい内容を知りたい方は、会議録を市民備
図書館・公民館・情報公開コーナーなどに
えまますのでご覧ください。また、会議録は市
ホームページにおいても公開しています。

代 表 質 問

山和会 佐藤 勇 議員



●元気創造プロジェクトにつ
いて

・山梨市立図書館について
・オーチャードヴィレッジ
「プフ」について

●国の融資主体型補助事業
と青年就農給付金事業につ
いて
・空き店舗解消事業について
・次世代エネルギーパーク
について
・農業基盤整備事業について
●防災対策について
●水道事業について
●火災警報器設置について
〈主な質問と答弁〉
●山梨市立図書館について
市議会の山梨市図書館調
査研究会で、市民会館の一部
改修により、書庫の必要面積
は確保できると提言した。旧
庁舎を解体し、新図書館を建
設するのは、厳しい財政状況
下で得策でない。市民、議員
に納得いく回答を伺いたい。

●答 市 長

旧庁舎は老朽化により、
大災害の際には倒壊が心配さ
れることから、取り壊すこと
を判断した。図書館の面積に
ついては、利用者からの要望
に答えるためなどに、図書館
基本計画で示された2千平方
メートル程度は必要である。
市民会館の拡張で確保できる
面積は1千平方メートル程度
であること、複数階に分かれ
るための利便性の低下、駐車
場の問題などを総合的に考え
新図書館の建設を決定した。

●市内に点在する太陽光発電施
設や、BDF製造施設などを、
次世代エネルギーパークとし
てどのように集約し、また拠
点をどうするのか。そして、
こうした施設について、どの
ように全国へ情報発信してい
くのか伺いたい。

●答 市 長

市内全域をフィールド
とし、農林観光と結びつけた
まちづくりを目指している。
また、木質バイオマス活用施
設である街の駅やまなしや、
環境に配慮した住宅の普及啓
発を進めるエコハウスやまな
しを拠点とし視察受け入れな
どを行う。情報発信について
は、経済産業省からの積極的
な支援により、旅行雑誌への
掲載などが進められている。

●答 市 長

●農業基盤整備事業について
本市内各地域の要望によ
り、6つの事業を展開して
り、市の負担金が各々15%、
50%となっている。市の単独
事業に比べると、少ない負担
で実施でき有効だが、今後、
こうした整備事業の計画はあ
るのか伺いたい。

●水道事業について
人口の減少などにより、
今後の水道使用量は減少が予
想される。浄水場建設が検討
された時期があったが、市の
考えを伺いたい。

●答 市 長

現在取水している深井
戸の揚水量低下の懸念などか
ら、浄水場建設を計画した。
しかし、水道の使用水量は減
少傾向にあり、平成25年度予
定の次期山梨市水道事業経営
変更認可申請の際、必要性に
ついて調査・検討したい。

新風会 古屋 忠城 議員



●小原スポーツ広場拡張につ
いて

●新図書館建設について
●保育園、幼稚園の運営整備
について

●山梨小学校周辺整備について
●上岩下地域の上下水道整備に
ついて

●少子化対策について
●矢坪市道拡張について
〈主な質問と答弁〉

●小原スポーツ広場拡張に
ついて
山梨市の一等地といえる土地

●について、スポーツ広場以外
での活用が十分検討されてい
るのか伺いたい。

●答 市 長

庁舎南棟については、
図書館などの整備を図り、山
梨市シティーセンターとして
活用する方針だったが、東海
地震対策などから、計画の見
直しを検討していた。一方、
体育協会から、小原スポーツ
広場拡張の要望があり、グラ
ウンドの必要性、防災拠点と
しての有用性からスポーツ広
場の拡張をすることとした。

●新図書館建設について

●市民会館を改修し、現在
の図書館を拡張すれば良いよ
うに思われるが、市長の考え
を伺いたい。

●答 市 長

●市民会館改修では、市
民が求めるサービスに答える
ための面積が確保できない。
地方自治体として、適正規模の
図書館は必要であると考える。

●山梨小学校周辺整備につ
いて

●山梨小学校教育環境整備委員
会より落合正徳寺線から児童
センターへの出入り口が欲し
いとの要望がある。災害時に
は避難所となる場所であるた
め、住民の協力を得て、実現
をお願いしたい。

●答 市 長

●学校など関係者からも

要望をいただいた。地権者の理解・協力が得られるような地域の取組みをお願いし、同意が得られたならば事業化したいと考えている。

問 山梨市の結婚相談などの婚活の取組み及び成果について伺いたい。

答弁 市長 26人の結婚相談員を委嘱し、毎月第3土曜日に結婚相談室を開設している。本年度相談件数は2月末で39人、相談所への登録者は88人となっている。合併後の成約数は12件であり、本年度は現在までに1件となっている。市民団体との共同による婚活パーティーなども開催しており、本年度は5回開催し、男女約50人ずつの参加を得た。

市民の会 古屋雅夫 議員



●「元気な市民生活」及び元気な市民の健康づくりの保健行政の充実について
●保健行政の推進の考え方と主要事業について
●医療関係経費の抑制及び保健行政の充実等について

●介護保険料の引上げと介護予防施策、関係施設等の充実に向けて
●介護保険事業運営について
●介護関係の施設整備について

答弁 市長 ①「元気創造プロジェクト」について

●新図書館建設構想について
●市長の新図書館建設に懸ける熱い思い、基本姿勢について
●電子図書館づくり及び近隣自治体との図書相互利用等について
●庁舎敷地内の南棟撤去・小原スポーツ広場の拡張について
●オーチャードヴィレッジ「フフ」の貸付けについて
●JR中央線との立体化と東山梨駅周辺整備について
●県消防協会の使途不明金問題について

＜主な質問と答弁＞
問 医療関係経費の抑制及び保健行政の充実等について

①医療費抑制に向けたビジョン及び事業計画への取り組みの考え方について伺いたい。

②木目細かな保健行政の推進に向け、保健師の人的体制整備と人材育成の充実が必要ではないか。
③生活習慣病対策に向けた「特定健診受診率」、「特定健康指導実施率」のアップが必要ではないか。

●介護関係の施設整備について

「クト」により、元気な市民生活の推進を旨とする。②人的体制整備については、適正な人員配置に努め、保健行政を停滞させない。人材育成についても、研修を活用し、保健師の専門知識・技能の向上を図りたい。③現状の「特定健診受診率32.9%」、「特定健康保健指導実施率48.9%」のアップにむけ努力する。

問 介護関係の施設整備について

老人ホームの施設整備の考え方と待機者（473人）解消対策について伺いたい。

●市内には広域型の特別養護老人ホームが3施設あり、入居定員数は214人。小規模多機能型居宅施設1施設、グループホーム2施設等を整備してきたが、待機者の抜本的改革にはならないことから、広域型の整備を担うこととの役割分担を踏まえ、施設整備について県に要請してきた。

問 庁舎敷地内の南棟撤去・小原スポーツ広場の拡張について

南棟を撤去し、小原スポーツ広場を拡張する理由。庁舎敷地内は防災拠点としての施設整備が必要。財政負担軽減のための対策について各々の考えを伺いたい。

答弁 市長 新たな総合グラウンドの整備が困難であること、建築基準法の不適合建物である南棟撤去の必要性から、小原スポーツ広場の拡張が最適であると考えた。防災拠点としても重要であり、防災倉庫設置等を検討していきたい。財源については、防災・減災事業など補助事業の活用を協議し、判断したい。

問 JR中央線との立体化と東山梨駅周辺整備について

東山梨駅周辺整備具体化のためビジョンと方向性を伺いたい。

答弁 市長 立体化については、県で実施する見解が示された。立体化及び駅周辺整備においては、駅に隣接する踏切の取り扱いが影響を与えるが、JRからは近隣踏切の除去を要望されている。しかし、歩行者道としての存続を念頭に置き協議を進めたい。駅周辺整備については、交通拠点としての機能を強化するためのアクセス道路などを検討したい。

問 山梨環境税の詳細について

●平成24年度予算について
●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について
●オーチャードヴィレッジ「フフ」の活用について
●本市の人口減少防止対策について
●本市における児童虐待の状況について
●森林環境税の詳細について
●甲府地方務務局山梨出張所の統合について
●教育環境の充実について
●電子黒板の活用について
●中学校学習指導要領の保健体育科について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●オーチャードヴィレッジ「フフ」の活用について

●本市の人口減少防止対策について

●本市における児童虐待の状況について

●森林環境税の詳細について

●甲府地方務務局山梨出張所の統合について

●教育環境の充実について

●電子黒板の活用について

●中学校学習指導要領の保健体育科について

●平成24年度予算に耐震診断費用を計上しており、その結果に基づき耐震設計・工事を行いたい。活用策については関係団体等と協議を行っていく。

問 「フフ」の活用について

●オーチャードヴィレッジ「フフ」の活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

●市立図書館建設と市民会館の整備と活用について

康増進事業者に貸し出すとのことだが、施設本体の改修は市で行うとのことであり、老朽化施設の撤去など長期展望に立った費用対効果の検討が必要と思われるが、考えを伺いたい。

答弁 市長

市は建物本体に係る改修を行い、他は現状のまま事業者であるグリーンドック社にお貸しする。宿泊棟などの解体には1億円以上の費用が見込まれるが、今回施設が有効活用されることによって、地域との交流が生まれ地域活性化につながると考える。

問 本市における児童虐待の状況について

本市の児童虐待の現状について。虐待の発見から援助までシステムはどのようになっているのかについて。防止などへの取り組みや課題について各々伺いたい。

答弁 市長

虐待事例は、本年度1月末までに22件であり、昨年度末と比べ2件増で、心理的、身体的虐待が多い。援助システムとしては、児童福祉施設、教育機関等により構成される、虐待防止ネットワーク山梨市民会議を設置し、早期発見とその対策を検討している。また、民生委員・児童委員を通じた地域での見守り

活動などにより虐待防止に取り組んでいる。

問 教育環境の充実について

全国学力テストなどを実施・活用し、指導改善にいかに関与しているのか。また、児童生徒の学力向上を図るため、どのような取り組みを行っているのか伺いたい。

答弁 教育長 丸山森人

市で学力テスト活用委員会を設置し、各学校での学力の実態把握、指導計画の見直しや、各校の取り組みの情報交換を行っている。

一般質問

公明党 木内健司 議員



●新図書館建設について

●小原スポーツ広場建設に伴う今後の展開について

●本市の情報発信力強化について

＜主な質問と答弁＞

問 新図書館建設について

民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律の施行以降、公立図書館でも活用の進む、PFI方式の導入について、市長の見解を伺いたい。

答弁 市長

検討の結果、合併特例債を活用し建設するほうが、財政的に有利だと考えた。

問 小原スポーツ広場建設に伴う今後の展開について

小原スポーツ広場は、本市の中心である庁舎と同じ敷地内であることから考え、新たな観光の切り口として、スポーツと観光の融合であるスポーツツーリズムの推進体制を構築してどうか。

答弁 市長

既存事業である巨峰の丘マラソン大会などの他にも、小原スポーツ広場の活用も考慮し、観光協会などと連携し、スポーツツーリズムの推進に努めたい。

日本共産党 吉田昭男 議員



●介護保険料値上げ回避策について

●安全・安心の食づくりで地域振興を

●オーチャードヴィレッジ「フフ」の施設無償貸与について

●ごみ減量化で快適住環境都市の推進を

●小学校の英語授業の拡大に

ついで

＜主な質問と答弁＞

問 安全・安心の食づくりで地域振興を

食による地域活性化のために、条例制定が必要だと思いが検討を考えているか。学校給食の外部委託を、財政削減だけではなく、食育など総合的な検証を行った上で導入すべきと考えるかどうか。市独自の、学校給食食材の放射線量測定を行う考えはあるか各々伺いたい。

答弁 市長

条例制定については研究課題としたい。給食の外部委託については、献立作成や食材購入については市が行っており、食育の推進を図っている。学校給食食材の放射線量測定については、県において順次検査を行うため、この検査結果を活用したい。

問 小学校の英語授業の拡大について

小学校1年生からの英語授業を導入する目的・目標は何か。教師とALTなどとの間の意思統一をどのように図るのか。日本人英語指導助手とALTとの待遇の格差の状況について。他の授業への支障について各々伺いたい。

答弁 教育長 丸山森人

中学校英語教育の初期段階でのつまずきを防ぎ、学

んだ素地を以降の教育に結び付け、国際人の育成を図ることが最終目標。教師などの意思統一について、学年別指導要領などを策定し、それにより共通理解のもと学習を推進していけると確信している。

日本人英語指導助手とALTとの待遇について、前者は臨時的任用職員の賃金を基準とし、ALTについては別の基準（JETプログラムの規程）により定められており、年額約40万円の差である。他の授業への支障について、生活科・総合的な学習の時間・外国語活動を英語教育に移行するが、内容は保障することとで、支障とはならない。

山和会 大村政啓 議員



●生活保護支援の実態と施策について

●合併特例債活用による事業実績と今後の大型事業展開について

●義務教育の課題について

●山梨市の文化財の保存及び維持管理のあり方について

＜主な質問と答弁＞

問 合併特例債活用による事業実績と今後の大型事業

展開について
平成23年度末の合併特例債借入総額について。平成24年度の図書館建設、スポーツ広場の整備事業における合併特例債の発行予定額について。合併特例債の償還額のうち、普通交付税に算入された額について各々伺いたい。

答弁 市長
平成23年度末の合併特例債借入総額は56億7千700万円の見込み。平成24年度の該当事業における合併特例債発行予定額は、図書館建設で6億5千170万円、小原スポーツ広場整備で1億9千850万円を予定している。合併特例債の償還額について、平成18年度から普通交付税に算入されており、平成23年度までに5億9千300万円余の額となっている。

問
義務教育の課題について2学期制の見直しに関する校長会の答申について。学期変更に伴う山梨市立学校管理規則の改正の有無について。児童減少に伴う小学校運営の考えについて各々伺いたい。

答弁 教育長 丸山森人
答申は2学期制を改め、3学期制の導入が望ましいとの内容であった。山梨市立学校管理規則については3学期制に合ったものにしていく。小学校運営については山梨市

小中学校適正規模研究委員会を設置し、望ましい学校・学級規模について研究・報告がなされている。それを受け、小規模校の子どもたちの望ましい教育環境確保を図りたい。

市民の会
● 震災がれきの受入れについて
● 万力公園河川敷占有について



市長 巧 議員

● 震災がれきの受入れについて
● 万力公園河川敷占有について

問
震災がれきの受入れについて

答弁 市長
本市ごみ焼却施設は老朽化により処理能力が落ちており、時間延長などで対応している状況である。がれきを保管できる場所もないため、震災がれきの受け入れは実質的に困難と考えている。

問
万力公園河川敷占有について

万力公園約14ヘクタールのうち、13.5ヘクタールを国土交通

省から河川敷地の占有により借り受けているとのことだが、利用状況から見ても適当とは思えない。河川区域の変更・廃止を申し入れる考えがあるのか伺いたい。

答弁 都市計画課長 清水一彦
公園南側には霞堤があるため、公園の大部分も河川法上の河川区域にあたり、変更・廃止はできないと国土交通省から言われている。今後も従来どおり、河川敷地の占有により借り受け、公園としての土地利用を図りたい。

山和会
● 岩崎友江 議員



議員 友江 議員

● 山梨市下水道未加入者の対応について

● 山梨市路線バス運行について

● 県消防協会消防団員福祉共済について

● 健康づくり（疾病予防・早期発見）血液サラサラ事業について

問
山梨市下水道未加入者の対応について

下水道受益者負担金について、軽減する考えはあるか伺いたい。また、新たに始める加入促進の助成制度に関し

て、下水道供用開始からの年数要件について、緩和を検討していただきたい。

答弁 市長
受益者負担金については、被災された場合などの徴収猶予制度、学校用地など土地利用形態による減免制度がある。市民に説明の上、現行の制度でお願いしたい。また、加入促進の助成制度について、特に供用開始後1年目の加入者を拡大することが大切であると判断しており、現段階ではそれ以上の年数の延長は考えていない。

問
山梨市路線バス運行について

①山梨市営バス西沢渓谷線の、西沢渓谷人口発下り最終便は16時25分となっているが、観光シーズンには観光客の利便性を考慮し、運航日程などを配慮していただきたい。

②山梨厚生病院発登りの17時以降の便は、天科で折り返してしまうが、観光客などの民宿利用者や地域住民の足として重要であるため、広瀬地区までの延長をお願いしたい。

答弁 市長
①観光シーズンは臨時便によって対応している。②登り便については実態の把握を行い、運行系統の延長について研究を進めたい。

と考えるが見解を伺いたい。

新風会

古屋 弘和 議員



● 市防災計画見直しにあたって

● 複合施設としての新図書館基本計画について

● 地域コミュニティの再構築について

● 教育について

● 武道必修化について

● 薬物乱用防止教育について

問
複合施設としての新図書館基本計画について

市内の生涯学習や文化の発展に寄与するとともに、中心市街地活性化に役立つような施設としての存在感が重要だが、考えを伺いたい。

答弁 市長
隣接する情報通信センター、夢わーくやまなしと連携し、生涯学習支援機能、地域産業を支援する機能などとあわせ、防災機能も持たせた複合的な機能を持つ図書館としたい。

問
地域コミュニティの再構築について

地域のつながりを継続・発展していく取組みを推進すべきと考えるが見解を伺いたい。

答弁 市長

区や団体などが合同して新たな事業を勧めるときは、協働のまちづくりの事業活用も考えられる。地域コミュニティの再構築となると、住民活動の盛り上がりが必要であり、地域住民と行政が互いに知恵を出し合い、それぞれの役割分担の中で協働のまちづくりを推進したい。

常任委員会の審査

今定例会の各常任委員会
は、3月7日・16日・19日に開催され、付託議案について慎重に審査が行われました。各常任委員会における質疑の要旨(抜粋)は次のとおりです。

総務

○議案第六号、山梨市税条例の一部を改正する条例について
今回の改正で、『附則第二十四条 平成26年度から平成35年度までの各年度分の個人の市民税に限り、均等割の税率は、第三十一条第一項の規定にかかわらず、同項の規定する額に500円を加算した額とする』を加えることあるが、その内容については、

答 東日本大震災復興基本法の基本理念に基づき、平

成23年度から平成27年度までの間において実施する施策のうち、全国的に、かつ、緊急に地方公共団体が実施する防災のための施策に要する費用の財源を確保するために、緊急の措置として、個人市民税の均等割の標準税率について、地方税法の特例が定められ、平成26年度から平成35年度までの各年度分に、標準税率の現行3千円に500円が加算されるものである。

○議案第二十六号、平成24年度山梨市一般会計予算関係付託部分について

問 庁舎等維持管理経費について、電力自由化に伴い、特定規模電気事業で、市役所庁舎、市民会館等の電気料25%の減額を予定しているとのことだが、その内容を伺いたい。

答 対象施設は、山梨市役所、牧丘支所、三富支所、市民会館、市民総合体育館、夢わーく山梨の6施設を予定している。現在の契約の場合、基本料金は『契約のキロワット数×1千638円』である。これに従量料金を合計したものが、電気料となっている。基本料金は各事業者で異なるが、従量料金は一律で東京電力と同額である。本市が契約しようとしている事業者は、基本料金が1千438円で、

現在より200円安く、市役所本庁舎においては年間て約90万円の減額になる見込みである。現在、特定規模電気事業者との契約へ4月1日から移行するため、東京電力と協議をしている。また、万が一供給会社からの電力がストップした時は、東京電力に切り替わるため、停電することはない。

建設経済

○議案第二十五号、平成23年度山梨市水道事業会計補正予算について

問 水道事業収益について、水道使用料収入が1千24万9千円の減額となっており、非常に額が大きいと感じるが、その要因を伺いたい。

答 昨年4月から水道使用料金が改定された影響で、市民の間で節水についての意識が高まった結果ではないかと推測される。

○議案第二十六号、平成24年度山梨市一般会計予算関係付託部分について

問 空き店舗解消事業について、確認している市内の空き店舗状況について伺いたい。

答 平成24年1月末現在で、山梨地域141件、牧丘・三富地域56件の合計197件を、目視による調査で確認している。これらのデータベー

ス化も完了しており、所有者に了解を得た物件について、市ホームページに掲載し、紹介を行っている。

要望事項

◆東日本大震災や大弛峠の通行止めなどの影響で、花かげの湯及び鼓川温泉の利用率が低下したことについて効果的な宣伝方法を検討し、集客の回復を図ること。

教育民生

○議案第二十六号、平成24年度山梨市一般会計予算関係付託部分について

問 新図書館建設について、新年度の当初予算で工事が計上されている。これまでの市マスタープランや総合計画等を踏まえると即、建設でなくて、当初は調査費を計上し、市民や議会の理解を得たのち、補正予算で提案することでもよかったのではないか。

答 昨年の6月議会の市長答弁の中で、平成24・26年度の継続事業で建設するというように述べていることを考えると、拙速であったと思われるかもしれないが、市民のために良いと思われることなので、できるだけ早く建設をしたほうがよいとの考えから当初予算で提案させて頂いた。

問 東日本大震災によって発生したガレキ処理について、焼却炉の処理能力の問題で、山梨市では受け入れられないとのことだが、誠意をもって受け入れについて検討は行ったのか。

答 被災地の一日も早い復興のために、広域的支援体制の推進が不可欠と考えている。しかし、山梨市の施設の1時間当たりの処理能力は当初4.3tであったが、現在は2.8tまで落ちてきており、日々発生する廃棄物を処理するだけでも、稼働時間を延長して処理を行っている。また、可燃性粗大ゴミの処理は民間業者に委託しており、このような状況から実質的に受け入れ困難であると考えている。

要望事項

◆新図書館の建設にあたっては、設計の段階で、市民及び議会に十分に説明し理解を得ること。また、建設に係る財源については国、県の補助金、交付金の有効活用を図ること。◆各委員の増減については、明確な理由を付すこと。

委員会審査後、「山梨市役所庁舎南棟」「小原スポーツ広場クラブハウス」「山梨市役所庁舎隣接体育館」の現地視察を行いました。

新しい議会構成決まる

議長に佐藤勇氏・副議長に雨宮悦子氏

平成24年3月定例会最終日(3月23日)において、正副議長の選挙をはじめ、常任委員会委員の選任が行われました。

議長選挙では、佐藤勇議員(七日市場)が第8代議長に当選し、続く副議長選挙では、雨宮悦子議員(小原西)が第8代副議長に当選し、就任いたしました。

また、運営委員会及び各組合議会議員の構成は下表のとおりです。

佐藤勇議長は当選2期目で、監査委員や総務常任委員会委員長などを歴任しました。

また、雨宮悦子副議長は当選1期目で、教育民生常任委員会委員長を歴任しました。

就任あいさつ



雨宮悦子副議長



佐藤勇議長

私たち両名が3月定例会において、第8代議長、副議長に選任されました。

責任の重さを改めて痛感いたしております。
さて平成24年度は前年度対比10パーセント増の予算となりました。これは旧市役所庁舎を解体して山梨市立図書館を建設する費用と市役所南棟を解体して小原スポーツ広場を拡張する工事が大きな事業であります。
図書館は市の文化教養のバロメーターであり、現在の山梨市の図書館は非常に狭く多くの図書愛用者は近隣の市の図書館を利用しておるとの報告がありました。又体育協会からの要望で小原スポーツ広場の拡張を要請されました。これを受けていろいろな検討さ

れました結果、南棟を解体してグラウンドを1万2千平方メートルに広げる計画であります。
牧丘にありますオールドヴィレッジフフは東京にあるグリーンドックという会社と賃貸借契約を結びました。こうした大型な事業の今後の進め方について、議会でも慎重に見守り、市民の皆様方のご賛同が得られるように努力いたす覚悟でございます。市民の皆様にご信頼されるような議会を目指してまいりますので、今後もご支援を宜しくお願い申し上げます。

議会選出の監査委員に 大村政啓議員

議会選出の監査委員小野鈴枝議員の辞職に伴い、後任として大村政啓議員(牧丘町倉科)が選任されました。



大村政啓議員

山梨市議会構成

◎委員長 ○副委員長

(平成24年3月23日)

◆議長	佐藤 勇	◆副議長	雨宮 悦子
◆総務常任委員会	古屋弘和 高原信道 古屋保男 大竹裕子	古屋保男 大竹裕子	
◆建設経済常任委員会	古屋忠城 佐藤 勇 小野鈴枝 大村政啓	雨宮悦子 吉田昭男	
◆教育民生常任委員会	木内健司 勝村 力 飯嶋賢一 雨宮 巧	秋山榮治 山田 稔	
◆議会運営委員会	高原信道 飯嶋賢一 雨宮 巧 岩崎友江	秋山榮治 古屋忠城	
◆議会選出監査委員	大村政啓(平成24年3月24日)		
◆組合議会議員	〈東山梨行政事務組合議会議員〉 勝村 力 古屋弘和 秋山榮治 高原信道 古屋保男 大竹裕子 吉田昭男 小野鈴枝		
	〈峡東地域広域水道企業団議会議員〉 佐藤 勇 雨宮悦子 古屋雅夫 古屋忠城		
	〈東山梨環境衛生組合議会議員〉 飯嶋賢一 岩崎友江 雨宮 巧 山田 稔		
	〈山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員〉 大村政啓		
	〈甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員〉 木内健司 高原信道		

議会活動日誌

- 2 月**.....山梨市緑化推進委員会総会(22日)
.....議会運営委員会・議員全員協議会(27日)
- 3 月**.....平成24年3月定例会(1日~23日)
.....議会運営委員会・議員全員協議会(8日・22日)
- 4 月**.....市内中学校卒業式(13日)
.....市内小学校卒業式(21日)
.....山梨市誕生7周年記念式典(22日)
.....議会事務局職員辞令交付式(2日)
.....正副議長就任あいさつまわり(3日)
.....市内小学校入学式(5日)
.....市内中学校入学式(6日)
.....第247回山梨県市議会議長会定期総会(16日)
.....菜の花と山菜まつり(22日)

-山梨市民生委員児童委員協議会定期総会(23日)
-第28回巨峰の丘マラソン大会実行委員会(23日)
-山梨市食生活改善推進員会定期総会(24日)
-第78回関東市議会議長会定期総会(25日)
-第17回万葉うたまつりとホテル観賞会実行委員会(26日)
-山梨市戦没者合同慰霊祭(27日)
-市町村長及び市町村議会議長会議(27日)
-「西沢溪谷」山開き及び山岳指導所開所式(29日)
- 5 月**.....議会運営委員会・議員全員協議会(1日)
.....議会改革特別委員会(1日)
.....オーチャードヴィレッジ・フフ施設の賃貸借契約締結調印式(2日)

山梨市議会 改革検討委員会が 答申書を提出

2月24日、山梨市議会議会改革検討委員会から、山梨市議会の議会改革についての答申書が議長に提出されました。

山梨市議会では、平成23年6月24日に各会派等からの代表者8名で構成する山梨市議会議会改革検討委員会を、議長の諮問機関として設置しました。同年7月11日に議長から議会の改革について、「山梨市議会として、執行機関のチェック機能の強化と活性化を図り、より市民に開かれた議会を目指す」として諮問を受け、第2回から第14回まで検討委員会を開催し、審議を重ねてきました。

答申書では、「山梨市議会においても、議会活動を活性化させるとともに、市民に対する議会報告会の開催を視野に入れて、常に公正性、透明性を重視した新しい議会を目指していく必要がある」との意見とともに、「今後山梨市議会としては、議員自らが主体的に取り組み、議員全員で

構成する山梨市議会議会改革特別委員会を早急に設置し、議会基本条例の制定と議会改革を強力に推し進めていくべきである」との意見が示されました。

(全文は市議会ホームページに掲載しております。)

山梨市議会改革 特別委員会設立

山梨市議会改革検討委員会の答申を受け、山梨市議会議員全員により構成される、山梨市議会改革特別委員会が設立されました。

5月1日に行われた第1回の委員会で、正副委員長の決定の他、議会基本条例の制定についてや、議員定数に關することなど、議会改革への取り組みについて、検討、推進していくことが確認されました。

- 山梨市議会改革特別委員会
委員構成
- 委員長 小野 鈴枝 議員
 - 副委員長 大竹 裕子 議員
 - 委員 全ての議員

編集後記

新年度がスタート。議会だよりも今号より新しい編集委員で始まりました。

議会だよりを市民に関心を持ってもらう内容とするため、市民の皆様のご意見をお聞きしたいと思っておりますので、議員及び議会事務局まで、ご意見をお寄せください。

また、執行機関のチェック機能の強化と、議会活動を活性化させ、常に公正性・透明性を重視した議会を目指すために、本市議会でも議会改革特別委員会が設立されました。今後この取り組みについて積極的に掲載していきたいと思っております。文責 古屋 弘和

- 議会だより編集委員会
- 委員長 古屋 弘和
 - 副委員長 木内 健司
 - 委員 佐藤 勇
 - 委員 雨宮 悦子
 - 委員 高原 信道
 - 委員 古屋 忠城

6月定例会開催予定

- 開会 4日(月)
- 代表質問 20日(水)
- 一般質問 21日(木)
- 常任委員会審査 22日(金)
- 閉会 26日(火)

※全日程午前10時開会
※日程は都合により変更となる場合があります